



検査室だより

2月半ば東北で震度6の大きな地震がありました。東日本大震災から10年経つのにまだ「余震だ」といいます。東北の方々はどれほど怖かったでしょう。嫌な思い出がよみがえって辛かったことと思います。変わらぬ暮らしが送れることに感謝しつつ、あの地震を忘れずにいることが大切だと思います。

さて日本でも「新型コロナワクチン」接種が始まりました。予防接種を受けるかどうか自分で決めなければなりません。今回はワクチンについてお話しします。

新型コロナワクチンは新しく開発された mRNA ワクチンと言われるものです。私たちは、ワクチンを接種することで新型コロナウイルスに対する免疫を得ます。これで100%安心、ぜったいコロナにならない・・・というわけではありません。しかしワクチンを打ってあれば「重症化予防の効果」があるといわれています。かかってもしどくならないのです。もちろん、体の中に異物を注射するので副反応も起こります。注射した腕が痛かったり、腫れたり、一時的に体がダルくなったり、頭が痛くなったりもします。だいたい10万人に1人の割合でひどいアレルギー反応を起こすことも報告されています。身近なインフルエンザワクチンに置き換えてみるとよくわかります。インフルエンザワクチンを打ってもインフルエンザにかかる人もいます。注射の後、腕が赤くなって腫れたりすることもあります。起こる確率は違いますが、それと同じような感じです。



厚生労働省のホームページ内に「新型コロナワクチンについてのQ&A」というサイトがあります。新型コロナウイルスワクチンについてわかりやすく説明してあります。ぜひ一度読んでみてください。ワクチンについて正しく理解して、どうするかを決めてください。



昨年から引き続きストレスフルな毎日です。そんな中でもできるだけ体調を崩さないよう笑顔で、楽しい春を過ごしたいですね。

公衆保健協会 検査室

